

きいて、きいて、町のこと

四番目の学年は、2年生でした。2年生は、「きいて、きいて、町のこと」としてみんなの身の回りの店へ町探検に行き、その聞いたことや勉強したことを生かして劇を行いました。保護者の方や近所の方にも楽しんでもらえるように、少し面白さを取り入れ、より学習発表会を盛り上げました。

右の写真では、みんなでドレミの歌を変えて、ふるさとである山野里への感謝の気持ちを表現しました。ボードのようなものは、すべて自分で書いていました。しっかり太い字で、はっきりと書けていたので、とても気持ちがこもっていました。ボードをあげるタイミングも、声を出すタイミングもしっかりとそろっていて、練習の成果が見られました。もう一つすごいと思ったところは、ほとんどの人が手をしっかりと伸ばして、とてもきれいだったところです。ぶっつけ本番だったら、絶対にできません。これも練習を頑張っていた証拠だと思いました。



さらに、町探検で見たことを劇として表していました。例えば右の写真の「ガソリンスタンド」では、ガソリンがなくなった車やトラックがガソリンスタンドへ来て、満タンになるまでガソリンを入れていることを再現していました。「〇〇円です」などしっかりとせりふを覚えていて、「すごい！！」と目をきらきらさせてみていました。お題の「きいて きいて 町のこと」は達成できていたなと思います。なぜかというと、しっかりとせりふも覚えているし、大きな声でせりふも言っていたので、完璧でした。これからも大変なことがいろいろあると思うけど、このことを生かして、来年も頑張ってもらいたいです。

